

【1日目/5月22日(つづき)】

自宅を早朝に出発、羽田空港でも飲食店はまだ開いていなかったの、朝からろくに何も食べていませんでした。そこで、まずは腹ごしらえです。



新石垣空港には、おみやげ物のお店以外にも、たくさんの飲食店が入っています。ネット上の「くちコミ」でも、そこそこ評判が良く、とにかく空腹(餓死寸前)だったので、空港で朝食をとることにしました。



注文したのは「やいそば」と「アーサーの天ぷら」。「やいそば」とは「八重山そば」という意味です。太い麺で、関東の感覚では「そば」というよりも「うどん」に近いです。肉とかまぼこの具がすごくたくさん入っていて、非常においしかったです。「アーサー(アーサ)」というのは海藻の一種で、これもそばによく合いました。値段も手ごろで満足でした!



空港の近くで予約しておいたレンタカーを借りて、いよいよドライブのスタートです。運転席周りは「ビデオカメラ」「アレクサ」などを設置して、映像記録と情報収集は万全です。



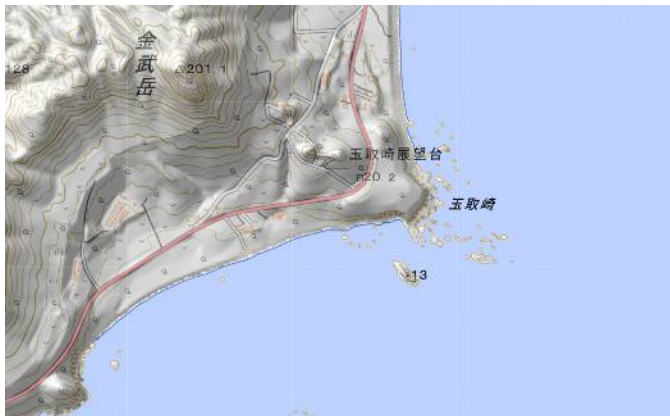
新石垣空港は石垣島の南部にあります、このあたりは天気が悪かったです。すでに梅雨入りしているのです。石垣の梅雨は、雨でも気温が30℃近くあり、非常に蒸し暑いのが特徴です。それでも南国風の沿道風景に癒されました。



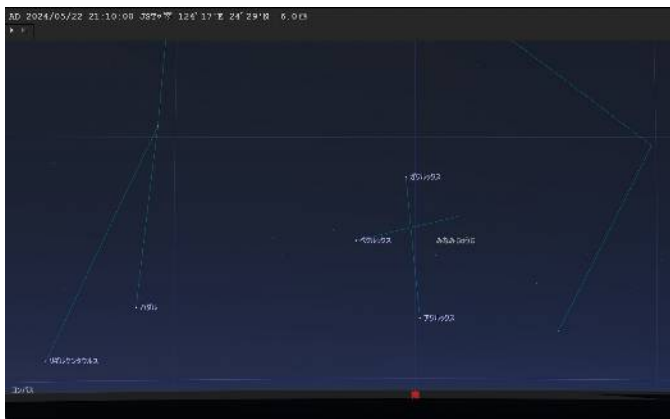
(国土地理院 地形図)

石垣島は南北に細長い形状をしています。大きな島の北側に、小さな島を2個くっつけたような感じですが。しかし最南端から最北端まで直線距離で

35km ほどしかなく、レンタカーがあれば余裕で一日で一周できてしまいます。



最初に向かったのは、空港から北に 30 分ほどにある、「玉取崎展望台」です。景色を眺めることが目的ではなく、天体写真のロケハンの一つです。今回の旅行目的の一つが「南十字星の観望と撮影」です。石垣島は北緯 24° 付近なので、計算上は南十字星は水平線上に完全に姿を見せます。



玉取崎展望台の緯度・経度を入力して事前にシミュレーションした結果でも、地形的な障害物は一切なく、南中時には水平線から 8° まで高度を上げることもわかりました。



初めての天体観測地を選定する場合、明るいうちに事前の下見をしておくことが重要です。道の状況、安全な駐車、トイレ（これが結構重要）そして何よりも

撮影ポイントの実際の状況の確認が大切です。たとえば、三脚が安定して置く場所があるか、南側に邪魔な樹木や人工物はないか、といったことです。



北側の展望は素晴らしいです。天気良ければ、低く昇る北斗七星や、高度 24° の低い北極星も見られるはずです。



南側の眺望も問題ありません。樹木はありますが、水平線にはかかっていないので、南十字星の観望や撮影には影響がないこともわかりました。展望台の足下はコンクリート打ちなので、三脚の安定設置も問題ありません。



念のために正確な方位を測定し、南の「見通し線」も確認しておきました。暗くなってから到着しても、三脚を立てる場所に迷わない為です。スマホの方位アプリは非常に便利です。